

観光社会資本の事例

テーマ	風情あふれる銀山温泉
【施設の状況写真】	
	
<p>冬の銀山温泉。雪に包まれた景観が大正ロマンを想わせる幻想的な雰囲気を醸し出します。</p>	<p>砂防事業で整備した床固工。自らを主張することなく景観にとけ込み、温泉街の景観を引き立てています。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>大正情緒あふれる夜景や、利用客の語らいの場として活用されている足湯など、温泉以外にもいろいろと楽しめます。</p>	<p>秋の銀山温泉。紅葉がはじまり夏や冬とは違った情緒が楽しめます。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>銀山温泉(延沢銀山)は慶長年間(1596~1614)の開発で、寛永・正保期にかけて栄え、その後も寛文ごろまではかなりの産銀があり、一時は佐渡や石見・生野の産銀に匹敵しました。</p> <p>銀山としては歴史の浅い銀山でしたが、そのため江戸時代初期の坑道や疎水が比較的に良い状態で残されています。</p> <p>銀山温泉は、延沢銀山開発以前から開湯されており、今も銀山川を挟んで大正建築様式の木造3層楼が軒をつらねており、山形県屈指の観光名所です。</p>	

テーマ	風情あふれる銀山温泉
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名 称 一級河川最上川水系銀山川</p> <p>所 在 地 山形県尾花沢市銀山新畑 地内</p> <p>事 業 名 県単独事業(名称不明)</p> <p>事業主体 山形県</p> <p>事業期間 ・床固工 昭和32年着工 完成 ・護岸工 昭和41年着工 完成</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>治水効果</p> <p>銀山川は洗掘の著しい状況であったことから床固工を施工することにより、河床の安定を図り、護岸工を施工することにより温泉街への冠水被害を防止しています。</p> <p>これらの社会資本の効果によって下流の市街地への土砂災害を防止し、なによりも全国的に有名な山形県の観光名所、銀山温泉を保全しているのです。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 イベント関係</p> <p>http://www.city.obanazawa.yamagata.jp/kitekera/kankou/ginzan.htm</p>	